



香川県教育センター 教育ライブラリーだより

第9号 令和5年12月8日

つい先日まで猛暑だ、異常気象だと騒いでおりましたが、気が付けばもう師走です。先生も走る季節です。一年中、走っているような気もしますが。走り疲れたらちょっと休憩して、コタツで本を読みましょう。みかんでも食べながら。

教育ライブラリーには、たくさんの教育図書、研究紀要・論文、教育雑誌、視聴覚資料などがあります。

この『教育ライブラリーだより』では、できるだけ新しいものを中心に時折旧刊も交えながら、教育図書や雑誌などの紹介をしたいと思います。

教育ライブラリーでは、閲覧はもちろん貸出もできます。原則土曜日も利用可能です。年末年始等の開館予定日は当ホームページでご確認ください。

書籍紹介

①『「探究」を探究する－本気で取り組む高校の探究活動』

田村学・廣瀬志保／編著（学事出版 2017年12月20日発行）

「魅力あふれる香川型教育メソッド〈1〉

～社会と出会い、問うことを楽しむ『香川型探究学習』編～」

香川県教育委員会 高校教育課／編集・発行（令和5年3月発行）

『「探究」を探究する』は「月刊高校教育」に今も連載中の記事を抜き出してまとめたものです。「総合的な探究の時間（以下「探究」）」に取り組む際のポイントと全国の高校の事例がまとめられています。各校の事例からは本気で取り組む高校生の姿が目に見え、「あっ、おもしろそう」と思わず声が出そうになります。「探究」が教育課程上あるから何となくやっているというのではなく、本気で、場合によっては学校の存続をかけて取り組む高校の姿がうかがえます。それは主に二つの理由によるものと思われます。一つ目は、知識・情報を活用しながら協働で自分の考えや新しいアイデアを生み出していくことを重視するという今日の学びの姿の変化です。いきおい教科横断的な取り組みとなるので、まさに「探究」がその中心となります。二つ目は、少子化の時代を迎えて、特色ある高校にしていかなければ学校が進学先として選ばれるなくなるという喫緊の課題です。学校の特色は当然その学校の教育目標と連動しているので、学校の教育目標と直接つながる学習活動を構成しやすい「探究」に焦点が当たり、学校グラウンドデザインの明確化から学校を挙げた探究活動のための組織づくり、地域資源の活用、授業の改善へとカリ・マネのサイクルがつながっていきます。香川県の高校におけるこうした実践をまとめたものが「香川型教育メソッド〈1〉」で、3校のリーディングスクールにおける実践と探究学習の方法論が提示されています。知識・技能の習得が中心であった高校の学習が変化のときを迎えていることを教えてくれる2冊です。

②「成功する『学び合い』は ここが違う！」

水落芳明・阿部隆幸／著（学事出版 2014年8月8日発行）

「だから、この『学び合い』は成功する！」

水落芳明・阿部隆幸／編著（学事出版 2015年7月6日発行）

この2冊は、今の自分の授業は本当に学び合いの授業なのだろうか、子どもたちがわいわい

言うだけで学び合いが深まらない、学び合いを児童が必要と感じないまま交流させてしまっているかも…など、日々の授業実践において不安や疑問を感じている方にお薦めの本です。

これらの著書では、『学び合い』を授業の「考え方」として、その「考え方」を授業に落とすときの「視点」が「目標と学習と評価の一体化」として、よく、指導と評価の一体化と言われますが、本書では学習と評価の一体化としており、その主語は取りも直さず子ども（学習者）です。そこに『学び合い』の「考え方」が表れているのだとか…。この考え方で貫かれた『学び合い』の授業が分かりやすく述べられています。

「成功する『学び合い』はここが違う！」では、『学び合い』授業の考え方やその授業をする上で大切なこと、『学び合い』授業のポイントなどが述べられています。「だから、この『学び合い』は成功する！」では、読者がそれを参考にして、自分にしかできない『学び合い』が創り出せるような、12人の教師の『学び合い』の実践が紹介されています。

「目標と学習と評価の一体化」という意味がこういうことか、と腑に落ちる2冊です。

雑誌紹介

雑誌名	号	特集等（抜粋）
国語教育 (明治図書)	12月号	【特集】国語授業がもっとうまくいく！「最強発問」88 ◇うまい教師はこうする！「最強発問」づくりのポイント ・説明文「教えたこと」を「学びたいこと」へ ・文学 発問づくり 3つのステップ ◇「最強発問」40のつくり方・使い方 説明文/文学
社会科教育 (明治図書)	12月号	【特集】子どもの集中力を持続させる！授業で使えるワザ大全 ◇脳科学が子どもを伸ばす！子どもが集中するワザ大全 ◇こんな時どうする？困った時の私の工夫 ◇社会科授業をモジュール型で考える！5分・10分・30分の工夫 ◇子ども熱中間違いなし！一度はやってみたい「社会科ソング」授業 ◇集中力に効果抜群！社会科お役立ちグッズ ◇子どもの集中力を持続させる！私のおすすめ授業プラン
新しい算数研究 (東洋館出版社)	12月号	【特集1】変化と関係領域における数学的な見方・考え方とその成長とは 【特集2】学年進行に伴う関数の考えの指導の在り方は？ 【連載】◇若手対象の研修会に参加して学びになるのは ◇統合的・発展的に考察しようとする「算数好き」を育てるために
数学教育 (明治図書)	12月号	【特集】最新！1人1台端末活用ネタ Collection ◇中学校の全学年のネタを37本集録！ ◇高等学校ネタも科目別に8本集録！ 【連載】◇「発達障害」から「ユニバーサルデザイン」まで ◇高校数学科 思考のプロセスを重視した「探究的な授業」のデザイン ◇数学教師のための「ロイロノート・スクール」活用ガイド
理科の教育 (東洋館出版社)	12月号	【特集】「エビデンス」を基に考え、語る子どもの育成 ◇対話と探究の過程で究める理科の授業 ◇「エビデンス」がつくる子どもたちの学びのつながりの課題 【連載】◇観察・実験 酢酸バイオレット液を用いた細胞分裂の観察

英語教育 (大修館書店)	12月号	【第1特集】この文法、どう教える？(教室での効果的な指導を考える) 【第2特集】「できた」に気づけるゴール設定 + 振り返りの工夫 【連載】◇チーム中学高校英語サステナブルな授業磨き ◇学習者用デジタル教科書活用 ◇The Road to 小学校英語授業改善 ◇知っておきたい英語のディスレクシア ◇英語教員よもやま話 ◇ストーリーテリング指導 こんなふうに ◇英語教育そもそも談話室 ◇レトリック・イン・アクション ◇ENGLISH DETECTIVE ◇教師のための辞書活用法 ◇外国語評価リテラシーを高めよう ◇多様性と包摂のための英語教育を目指して ◇英語教師の仕事術 ◇ChatGPT プロンプト研究所 ◇ICT 活用の大ワザ・小ワザ BASIC ◇英詩とめぐる 12 か月 ◇物語の中の食の光景 ◇思い出の The New Yorker ◇アジア文学への招待
道徳教育 (明治図書)	12月号	【特集】いじめを許さない心を育てる教材セレクション ◇いじめを許さない心を道徳授業でどうそだてるか ◇ネットいじめ×GIGA スクール時代のデジタル・シティズンシップ教育 ◇いじめを許さない心を育てる特選教材セレクション ◇子どもの心に届くいじめ教材&指導アイデア ◇いじめと学び ◇いじめ事案レポートー私はこう“いじめ”と対峙した
授業力&学級経営 力 (明治図書)	12月号	【特集】タイパを最大化する教師の「時短術」大全 ◇座談会：タイパを最大化するために何を時短しているか ◇時間をかけるところ・削るところが丸わかり！ 凄腕教師の授業準備時短術 ◇ポイントを押さえて時間をかけ過ぎない！成績処理の時短術 ◇ほんの少しの工夫がスキマ時間を生む！日常業務の時短術 ◇年間150時間の探し物に使う時間をなくす！整理整頓術 ◇保護者の安心を最速で確保する！トラブルのスピード対応術 ◇音声入力や生成 AI の活用が時間を生む！最新 ICT フル活用時短術 ◇会議・打合せの時間を短くする！根回し&段取り術
生徒指導 (学事出版)	12月号	【巻頭インタビュー】教職員同士が「共感」をもって協働していくために 【特集】「安全・安心な学校」ってどんな学校？ ◇「魅力ある学校づくり」をするために ◇安心・安全な環境を作る教師のかかわりーいじめによる不登校 ◇子どもの権利を尊重する学校 ◇安心して学べる授業づくり ◇多様な子どもの個性を受け入れる集団づくり 【特別企画】問題行動・不登校調査の結果と課題 【連載】・新しい提要、新しい生徒指導 第10章「不登校」 ◇授業と教育相談ー授業の4 ちから ◇多様な背景をもつ子どもへのまなざし 「私たちこそ、学習難民です」 ◇学びのための校則改正 がんじがらめな「学生らしさ」 頭髮について ◇ネットの闇も伝える必要があります ◇ほめ育メソッド×生徒指導 ◇押さえておきたい毎日の生徒対応 「叱る」って何だろう
生徒指導 (学事出版)	増刊号	◇生徒指導の聴き取り方 ・生徒指導における「聴き取り」とは ・令和時代の「聴き取り方」

		・聴き取り前の準備 ・話の聴き方 ・聴き取りの流れ ・聴き方の失敗例から考える ・聴き取りが終わったら記録する ・聴き取りが終わったら報告する
教職研修 (教育開発研究所)	12月号	【巻頭インタビュー】定時制高校から世の中を見てみたら 【特集1】こじらせない保護者対応 ◇いまどきの保護者の心理と学校がすべき凡事徹底とは ◇こじらせない保護者対応の基本 ◇犯罪に該当する保護者の行動／訴訟につながりかねない学校の対応 ◇学校の「塩対応」がクレーマーを生んでいないか ◇若手教師を学校全体でフォローする 【特集2】学校管理職の「聴く」カー心理的安全性の高い職場を実現する ◇「哲学対話」における「聴く」とは ◇部下の気づきと行動を促すために三つの視点で「聴く」 ◇満足度の高い面談にある「聴く」力 【連載】◇行政職員日記 「GIGA スクール構想」の舞台裏 高松市総合教育センター研修係長 河田祥司
初等教育資料 (東洋館出版社)	12月号	【特集1】資質・能力の育成に向けた授業づくり3 ー学びに向かう力、人間性等の指導と評価を軸に① ◇論説 ◇各教科における事例 【特集2】[音楽] カリキュラム・マネジメントと音楽科の授業改善 ◇地域の教育資源や他教科等とのつながりを生かした音楽科の授業改善 ◇気候や季節を扱った教科横断的な視点からの音楽科の授業づくり ◇地域のオーケストラと協働した教材開発
中等教育資料 (学事出版)	12月号	【特集】「体系的・系統的なキャリア教育」の推進 ◇解説・論説 ◇実践研究（教育委員会・中学校・高校） 【連載】◇窓 ご機嫌は自分でつくるもの ◇教育小景 SASUKE で学んだ好きな事で目標を達成する方法
実践みんなの特別 支援教育 (Gakken)	12月号	【特集】小学校からはじめる進学に向けた合理的配慮 進んでる？ 入試における合理的配慮 【連載】◇教材づくりからスタート！コンナンデ自立活動 どんぐり ◇ダウンロード&印刷して使える！ 葉っぱのアートを楽しもう！ ◇学びにくさのある子への算数の支援 「できる」を止めない！ ◇協同学習の授業展開 終盤の共有場面のポイント
特別支援教育研究 (東洋館出版社)	12月号	【特集】実践してみよう！子ども主体の交流及び共同学習と地域協働活動 【連載】◇思考の整理を促し、表現する活動の充実を目指した実践 ーロイロノートを活用を通して ◇高等学校における多様な教育的ニーズのある生徒の教科指導上の配慮 ◇実践レポート 思いを表現することで自分を見つける ◇各地の特別支援教育 香川県特別支援教育研究会の取組/廣瀬尚子
学校図書館 (全国学校図書館 推進協議会)	11月号	【特集】子どもの読書の現状（第68回学校読書調査報告） 【連載】◇知的障害のある人の読書を支援する ◇教職員の思いを生かした学校図書館づくり ◇図書館オリエンテーションを考える

高校教育 (学事出版) 12月号	【巻頭インタビュー】人生100年時代にどんな教員像を描く？ 【特集】限界を迎える高校統廃合 ◇さらなる少子化時代が進む日本社会、そして学校は？ ◇高校統廃合は地域にどんな社会・経済的影響を及ぼすのか ◇今後の高校再編をどう考えるかー埼玉県の事例から ◇再編計画は新たな段階へー高知県の取組から ◇遠隔授業で統廃合を乗り越える ◇全国の再編整備計画の推進状況 【連載】◇働き方改革は「急がば、回れ」プロセス・ロスに気を付けろ ◇高校の魅力のつくり方 魅力化＝斬新である必要はない ◇心のエンジンを駆動させる みらいの高校教育
高校教育 (学事出版) 増刊号	◇地域連携・キャリア教育・探究学習がつながる！みんなの「仕事図鑑」 ・「仕事図鑑」のキソキホン 「仕事図鑑」とは何か ・キャリア教育としてみる「仕事図鑑」の価値 ・「仕事図鑑」の進化－9回にわたる改訂 ・広がる・つながる「仕事図鑑」
道徳と特別活動 (文溪堂) 12月号	【特集】学習効果を高めるゲストティーチャー&ティームティーチングー地域の中心としての学校の在り方 【特別座談会】学級会指導のお悩み座談会 【基礎講座】◇特別な支援を踏まえた道徳科の授業構想 ◇二拓で考える学級経営の指導改善の視点 ◇道徳実践・道徳活動実践 赤ペンチェック
学校事務 (学事出版) 12月号	【特集】2023年度 夏季研究大会・集会リポート 【巻頭インタビュー】家計への経済的負担増で学びの保障に影響も 【特別企画】 全事研「第4期学校事務のグランドデザイン」策定に携わって 【連載】◇日々を彩るオススメ文具 stipee ◇事務職員のための学校理解入門 管理職の登用はどうやって ◇「標準事務例」から読み解く！業務のポイント解説 教材教具及び備品の整備計画の策定 広報の実施 ◇学校をおもしろくする思考法 ◇参考となる共同学校事務室の実践例 ◇今月の書評 「読書バリアフリーの世界」「勉強するのは何のため？」
指導と評価 (日本教育評価研究会) 12月号	【巻頭言】SOSを言える環境づくりとSOSの受信力 【特集1】新学習指導要領に沿った試験問題のつくり方(中学校) ◇新学習指導要領に沿った問題のつくり方 ◇「思考・判断・表現」を評価する試験問題の解答方法のバリエーション ◇各教科の試験問題のつくり方 【特集2】SOSを出せる子どもを育てる ◇これからの自殺予防教育の方向性と課題 『提要』改訂を踏まえて ◇助けてと言えない子どもの背景と理解ー相談の利益とコスト ◇学校におけるSOSの出し方教育